ラブミンだより

令和6年2024年 夏号

人権協ホームページ
https://lovemin.jp

人権擁護委員
波口　恵美子

プロフィール

- 公益社団法人くまもと被害者支援センター犯罪被害相談員
- 性暴力被害者のためのサポートセンターゆあさいどくまもと相談責任者
- 元熊本市男女共同参画センターはあもにい総合相談室相談員
- 元熊本県福祉総合相談所DV電話相談員
- 元荒尾市人権啓発課男女共同参画推進室相談員

2000年頃から、公的機関の相談室や民間の女性支援グループで、DV・セクハラ・パワハラなどの暴力やハラスメントの問題を中心に相談支援活動を続けてきた。2015年からは性犯罪・性暴力の被害者支援と併せて子どもたちへの性暴力の未然防止教育に取り組んでいる。

子どもたちと共に「性暴力」を考える

毎日のように子どもへの性暴力事件が報じられる。「ほんとに多いなあ」とため息が出る。それでも記事になるのは“氷山の一角”でしかない。多くの被害は見えないところにある。

内閣府が令和４年に若年層の性暴力被害の実態調査をおこなった。その結果は、回答した人たちの４人に１人が「言葉による性的暴力」「デジタル性暴力」「レイプ」など、何らかの性暴力被害の体験があったと答えている。

私は10年程前から性暴力被害者の支援に携わってきた。携わってみて最も驚いたことが「子どもの被害」の多さだった。本来ならば守られるべきはずの子どもたちが性的に利用され搾取され続けている事実に何とも言いようのない気持ちになった。

こうした状況を何とかしなくてはならないと思って仲間たちと始めたのが、中学生や高校生を対象にした性暴力の未然防止プログラムである。「性暴力とは何か」「性的同意とは何か」「もし被害にあったらどうしたらいいのか」「被害を受けるとどのような影響があるのか」「被害にあった友だちから相談されたら、どうするのか」等々を子どもたちと共に考える１時間ほどのプログラムである。

多くの子どもたちにとっては、初めて聞く話である。受講後のアンケートには、「ショックだったけど、自分たちに必要なことだと思った」「知ってよかった」「ちゃんと支援してくれる機関があることを知って安心した」「友だちが相談してきたときは力になりたい」等々、プログラムに対して肯定的な意見や感想が寄せられた。子どもに真摯に向き合って、共に考えていこうという気持ちで問題提起をしていけば、子どもたちは自分事として真剣に考えていく力をもっているということを感じた。「性暴力」を学ぶことは、「暴力のない安心・安全な関係をどうやって作っていくのか」を学ぶことだと言える。それは、生きていく上で大切なことだ。こうした学びが広がっていくことを願ってやまない。

人権協ニュース　第72号（年間４回発行 春夏秋冬号）　発行日：令和６年（2024年）７月25日

Voice

会員の皆様より、社会貢献活動や人権啓発への取り組みについてお話いただきます。

株式会社エフエム熊本
荒木　正博　相談役

求められた原稿のテーマは、各企業で取り組む社会貢献活動や人権啓発です。それなら当社の場合、存在そのものが社会貢献ではないでしょうか。いいかげんなことを言うなと叱られそうですが、大真面目です。

そもそも社会貢献とは何でしょう。「暮らしを豊かにすること」だと考えれば、当社はまさにそのために誕生。24時間365日、県民の皆さまに音楽や生活情報の提供を通して、暮らしを豊かにする活動を続けています。

一方、いざというときに頼りになるのがラジオの特長です。国内でラジオ放送が始まったのは1925（大正14）年。２年前の23年に起きた関東大震災が放送開始を早めさせたようです。来年で百年。大災害が増えた近年、ラジオの有用性が見直されています。

さらに、当社が関与するイベントは主催・共催に後援まで加えると年間300件余りに上ります。さまざまな形で地域の皆さまに貢献できていることを誇りに思います。

1985（昭和60）年４月の創立から来年で40周年。エフエム中九州としてスタートし、20周年を機に現在の社名エフエム熊本に改めました。今後も暮らしを豊かにする存在であり続けるための努力を重ねます。どうぞよろしくお願い致します。

一般財団法人 熊本国際観光コンベンション協会
吉丸　良治　代表理事
（令和６年度（2024年度）理事）

当協会は、熊本に観光やコンベンションを誘致することで、地域経済の活性化を図ることを目的とした団体ですが、その中で一番大切にしていることは、熊本を訪れる全ての方に安心して旅を楽しんでいただくことです。

最近は、多くの外国人の方が熊本を訪れるようになりましたが、やはり日本とは文化や習慣も異なるため、様々な場面で戸惑うこともあるようです。

また、高齢の方や障がいのある方にとっては、不便さを感じる場所や場面に遭遇することもしばしばです。

そのような時に、ちょっとした声掛けやお手伝いをすることで、解決できることも多々あるように思います。大事なことは、「おもてなしの心」を持って接することではないでしょうか。

当協会では、熊本駅と桜の馬場城彩苑で観光案内所を運営していますが、昨年２月には観光庁が推進する「心のバリアフリー認定制度」の認定を受け、バリアフリーに関する情報を積極的に発信するなど、高齢の方や障がいのある方が快適に施設を利用できるようなお手伝いをしています。

これからも、宿泊業や飲食業を始め、観光に携わる多くの事業者の皆様と連携し、「おもてなし」の精神で、ユニバーサルツーリズム（国籍や年齢、障がいの有無にかかわらず、全ての人が安心して楽しめる旅行のこと。）の実現に取り組んで参ります。

ラブミンだよりについてご意見・ご感想等ございましたら、下記までご連絡ください。

〒860-8601
熊本市中央区手取本町1-1
熊本市人権啓発市民協議会事務局（熊本市役所人権政策課内）
〔電話番号〕096-328-2333
〔F　A　X〕096-324-2105
〔メールアドレス〕　lovemin.kumamoto@gmail.com

熊本市人権啓発キャラクター「ラブミン」

（漫画：圓山道子さん）

人権啓発DVD・助成金制度をぜひご利用ください！

人権協では、人権啓発のためのビデオやDVD、紙芝居の貸し出し【1回につき1週間（7泊8日)】を無料で行っています。

ご利用は、事前にお電話での予約を承っております。詳しいご利用方法は、人権協ホームページをご覧ください。

【会員限定　助成金制度のご案内】

人権に関する研修会などを行われた場合、会員限定の助成金のご利用が可能です。

●対 象 事 業●
人権協会員が組織内部で行う人権に関する講演会、研修会、学習会など

●対 象 経 費●
講師に対する謝礼金、会場費、講師の旅費

●助成金の額●
上記対象経費の全額。ただし、３万円を上限としますが、３万円以内であれば複数回でも可です。
（ご利用については、人権協予算の範囲内とさせていただきます）

私たちは お客様の想いと夢をデザインします…
社会福祉法人 熊本県コロニー協会（コロニー印刷）
〒860-0051　熊本市西区二本木3丁目12-37
TEL.096-353-1291　FAX.096-351-4303
Home page https://www.colony-k.com/　E-mail soumu@colony-k.or.jp

～心とからだの健康づくり～
（一財）熊本市文化スポーツ財団
子どもからシニア世代まで参加できる
スポーツ・健康・文化教室開催中！
https://kc-sks.jp

熊本学園大学
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY
商学部　経済学部　外国語学部　社会福祉学部［第一部・第二部］
〒862-8680 熊本市中央区大江２丁目５番１号　TEL 096 364 5161［代表］　URL www.kumagaku.ac.jp